



# NEWS LETTER

—ウォーター・セキュリティ研究会—

発行：研究会事務局

第1号

2008年7月7日

## 1. 研究の趣旨

2007年2月2日発表されたIPCC第4次評価報告書（AR4）において、地球温暖化の将来予測として、初めて「淡水資源」、「沿岸域と低平地」への影響が示された。これらの影響は、アジアの大都市圏においても、極めて深刻な課題であり、より詳細な気候変動による水資源環境影響評価分析、さらには、気候変動に対する適応策のため実践的なプログラムの構築が求められている。地球温暖化対策全体の中で、適応策は削減策を補完するものとして位置づけられてきたが、近年その重要性に対する認識が急速に高まりつつある。

本研究では、気候変動による水資源環境影響を最も深刻に受けるバングラデッシュと世界最大の都市圏であり、深刻な水資源環境問題を抱えている上海大都市圏を対象地域として選定し、水資源環境影響評価分析、適応策のインベントリーの作成、適応策の総合評価を行う。適応策の評価研究とともに、適応策を推進していくためには、持続可能な水環境マネジメントが必要である。アジア大都市圏においては、水管理方式として、「統合的水管理」が指向されつつある。これは、従来の中央政府主導の管理方式では限界があり、地方政府との協同化、さらには水の市場化・民営化が現実化するなかで民間企業や地域住民とのパートナーシップが「大都市圏の水の安全保障」を高めるためにも必要である。地域の状況に合致した適応策実現のための「統合的水管理」の方式を確立することが、新しい課題として提起されている。

## 2. 研究テーマ

### I. 気候変動による水資源環境影響評価分析・適応策と統合的水管理

（アセスメントシステム構築、適応策の策定、キャパシティ・ビルディングなど）

### II. 上海大都市圏における気候変動への適応策

（シミュレーション分析、ウォーター・セキュリティ水準の評価など）

### III. バングラデッシュ・ダッカにおける気候変動への適応策

（湿地管理の分析、国際協力機関におけるパートナーシップのあり方など）

## 3. これまでの活動

### ◆第1回研究会：平成20年5月22日

話題提供：仲上（立命館大学）、濱崎（立命館大学・院生）

### ◆第2回研究会：平成20年6月26日

話題提供：仲上（立命館大学）

### ◆第3回研究会：平成20年7月5日

話題提供：Prof. Dr. Mafzir Rahman（バングラデッシュ工科大学）

## 第1回研究会

日時：平成20年5月22日（木）18:00～19:30

場所：立命館大学衣笠キャンパス 洋洋館 981 教室

### プログラム

18:00 - 18:30	本研究プロジェクトについての趣旨説明	仲上 健一 (本プロジェクト代表)
18:30 - 19:10	話題提供：「統合的水資源管理」とは	濱崎 宏則 (立命館大学・院生)
19:10 - 19:30	本研究プロジェクトメンバーの自己紹介	

## 第2回研究会

日時：平成20年6月26日（木）18:00～19:30

場所：立命館大学衣笠キャンパス 洋洋館 981 教室

### プログラム

18:00 - 18:30	本研究の役割分担と進め方の確認	仲上 健一 (本プロジェクト代表)
18:30 - 19:00	今後のスケジュールの確認	仲上 健一 (本プロジェクト代表)
19:00 - 19:30	本研究プロジェクトに関して意見交換	

## 第3回研究会

日時：平成20年7月5日（土）16:00～18:30

場所：立命館大学衣笠キャンパス 学而館2階 第1研究会室

### プログラム

16:00 - 17:00	話題提供 Water supply status in Dhaka city	Prof. Matizur Rahman (バングラデシュ工科大学教授)
17:00 - 18:00	メンバー自己紹介・質疑応答	
18:00 - 18:30	フリー・ディスカッション	